#### 2020年12月

編集発行:

宮崎まちづくり協議会 電話:0564-83-2034 発行責任者:梅村順-

携帯:090-3259-4091

# 宮崎まちづくり活動団体情報







#### 【サイクリング部会】

サイクリングの郷づくり実行委員会(委員長 山口和雄さん)※関係人口創出事業は、総務省『関係人口ポータルサイト』で紹介されています。

#### 〇 関係人口創出・拡大事業への取り組み

総務省のモデル事業として岡崎市の企画課が中心となり、地 元とサイクリストが一緒に活動するものです。ロードクリーン などの活動も実施しましたが、今回はマウンテンバイク(MT B) のコースづくり活動を紹介します。私たちが今回『MTB トレイルビルディング』と呼んでいる活動は3つあります。

最初は、10月4日(日)に開催した「パネルディスカッシ ョン」です。岐阜県関市において自転車のコースである「大杉 トレイル」を整備しているGMTP(Gifu MTB Trail Project)の河地孝泰さんはじめ、スタッフをお招きしました。 MTBトレイルビルディングに取り組んでいる人たちの考え方 を紹介していただくとともに、岡崎市や宮崎まちづくり協議会 の現状を伝え、宮崎地区が活性化するにはどうすればよいかを 話し合いました。

次に、11月1日(日) 具体的な活動として「ワークショッ プ」を実施しました。石原町にある「絆の森」で、土を盛り上 げたりカーブを作ったりするパンプトラックを制作しました。 くらがり渓谷にある「26ism」のトレイル関係者も参加し、女 性や外国人も加わって総勢約50名が参加し、3時間ほどでM TBの走行ができる場所ができあがりました。しかし、これで 完成ではありません。スタートなのです。これからも少しずつ、 年月をかけて取り組んでいきます。

チラシにある12月19日(土)は、多くの方を招いて「キ **ックオフイベント」**を実施します。MTBトレイルビルディン グのキックオフ、つまりこの事業を開始するというイベントで す。絆の森の奥に、樹間を通るトレイルコースを作り始めます。 当日のランチは、岡崎市役所の産業振興部農務課内にある「岡 崎市ぬかたブランド協議会」のご協力で地元グルメの会を開催 します。メンバーの交流エリアだけでなく、一般の方も参加可 能なフードエリアが設置されます。宮崎の皆さんも現地を見学 しながら、今後トレイルビルディングがどのように進んでいく のか想像してみてください。また、皆さんもこれらの活動に参 加することもできますのでご連絡ください。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴って、関係 人口の取り組みは苦戦を強いられました。しかし、市役所のご 指導の下、手指消毒、検温、マスクなど徹底して取り組み、こ れらの活動を実施することができました。来年の年明けには、 活動をまとめて総務省に報告することになります。ご協力して くださった多くの皆さん、ありがとうございました。次年度も この事業は続きます。よろしくお願いします。



## 

#### 【くらがり活性化部会】

### くらがり活性化実行委員会(委員長 加山茂さん)

#### ○地域と共に、くらがりに新たな魅力を

「くらがり五平」の後に「YOROZUYA」が開店し、「観光地 くらがり」を発信しています。「昔から変わっとらん」良さと、 「へぇー!!変わったねぇ」とがマッチした新しいくらがりの出 発です。が!コロナ禍の今年の夏は、海を避け、くらがりは大 いに賑わいました。くらがり街道が渋滞し多方面にご迷惑をお 掛け致しました。氷街道も盛況で遠くからもお越し頂いていま す。受け入れ側として、「くらがりに何かを!!」これは、「どこ がやる!!」のではなく、地域一体として考える必要があると思 います。くらがり渓谷第1駐車場へのヒガンバナ植え付けは2 年目を迎え、まだ小株ですが楽しめる距離を伸ばしています。 また、くらがり八景のひとつである『不動の滝辺りの遊歩道』 の整備を皆さんと一緒に進めていきたいと思います。

11月1日、碧水会開催の「学区限定マス釣り大会」は、67 名の方の参加をいただき大盛況でした。なんと 44 cm、725 g という大物を釣り上げた方もいました。今年は大物の競い合い で、魚との駆け引きが楽しめたようです。

くらがり渓谷の紅葉は、他の名所が規模縮小 したことで人出が予測できない状況です。くら がりの感謝祭は、中止となりました。紅葉・黄 葉は、自然相手でありますが来遊者に楽しんで もらえることを祈っています。



#### 【歴史文化部会】

#### 歴史文化探訪委員会(委員長 清水 力さん)

#### ○歴史探訪ウォーキングを開催

11月14日に見学会を企画しました。参加者は、奥田敏春氏 (岡崎市文化財保護審議会委員)を含め9名でした。最初に、 秦梨城跡を見学し、次に牧平町にある小金城跡を見学しました。



中世の城跡で、奥田氏の説明 を聞きながらのウォーキング でした。地元でランチを食べ、 午後から参加した会員の梅村 奉英さんの案内により、石原 地内の田原坂の戦いの地を訪 ねました。今では廃村になっ

ておりましたが、梅村さんの親の実家跡も教えていただきまし た。先代の言付で今でもお参りを欠かさない、お墓にも案内し ていただきました。田原坂周辺には、昔の人が作った立派な石 垣が残っています。大きな石が使ってあり、どうやって作った のか不思議に思いました。次に千万町町地内の八剱神社を訪ね、 谷澤講師(会員)の案内で説明を受けました。最後に同町の野 仏を荻野定雄会員の案内で、さまざまな石仏を見学でき、新た な発見となりました。その日の万歩計を確認すると 1 万2千歩 にもなっていました。(追伸:毎月第2火曜日の午後7時から市民 ホームに集まっています。歴史文化に興味のあるみなさんの参加をお 待ちしております。)

#### 【健康推進部会】

#### 健康ウォーキング委員会(委員長 加藤勝彦さん)

#### ○健康ウォーキング体験開催(子ども自然体験案内)

10月3日、くらがり渓谷にて「健康ウォーキング体験」を 開催しました。石原林道協議会主催の『子ども自然体験案内事 業』のイベントで、当健康ウォーキング委員会との共催でイベ ントを開催しました。

先ず、子ども自然体験事務局 が事前に用意したコースを試歩 しました。そのコースは、くら がり渓谷駐車場から散策道を上 り、猿飛岩からの景色を楽しみ、

その後、見込橋から大松沢の急峻な道を登りやっとの思いで保 安林道まで辿り着きました。ウォーキング設定で一番重要なの は安全だと思います。そこでコースに階段を作り、邪魔な雑木 を伐採して、参加者が安全にウォーキングを楽しんでいただく ように設定しました。

当日は、岡崎女子短期大学の山下晋教授に「歩き方の基本」「ウ ォーキングの効能」をお話しいただき、一般参加の4家族9名 と、市役所山の会のメンバー、健康増進課の職員の皆様と共に コースを歩きました。コースの途中には、朴木の落ち葉でお面 を作ったり、路肩に生えている植物の名前を調べたりしました。 木々の間から牧原集落が見える「ヤッホーポイント」や、木を くり貫いて作ってもらった「木魚」を鳴らすポイントで、休憩、 脈拍測定をしながらくらがり渓谷散策路にたどりつきました。

コロナ過の中、三蜜を避け自然豊かな宮崎の地できれいな空 気を思う存分吸い、砂利道や土の道を登ったり下ったりしなが ら、健康でウォーキングを楽しめる毎日を送って頂きたいと思 います。(新入会員募集中です)

#### 【生活改善部会】

### にぎわいづくり委員会(委員長 平木教男さん)

#### 〇地域のにぎわいにつながる新しい提案

全国の中山間地で高齢化や過疎化が急激に進み、宮崎地区は この変化の最先端の町です。「JA 宮崎支店検討委員会」を引き 継いだ「にぎわいづくり委員会」は、地域に賑わいを生み出す 小さな拠点を作っていくことをめざして検討を進めています。



先日、私たちの活動を額 田支店長さんに相談し、部 会に参加していただき農協 さんとの絆ができました。 その後、購買を運営してい る営農産直部長さんと店舗

課長さんに「地域住民と農協が協力して宮崎店を育て、地域の 拠点体制を作りたい」との意向をお伝えしました。経営側から 協力していただける旨の回答をいただくことができました。次 回の部会にはJA関係者と共に、地域のにぎわいにつながる新 しい提案を探っていきたいと思います。